

学科名	デザイン科
コース名	プロダクトデザイン専攻
授業科目	デザイン論3
必選	必
年次	2年次
実施時期	前期
種別	講義
時間数	30
単位数	2
担当教員	伊藤 恒平
実務経験	有
実務経験職種	プロダクトデザイナー
授業概要	この科目では、初心者でも学びやすいよう、プロダクトデザインの基礎知識から始め、背景・社会・ビジネス・プロセスの 카테고리からプロダクトを理解し、自分の適性や興味・関心と結びつけて理解することを目指しています。また、社会で活動するために必要な知識力と理解力を具体的に修得し、自分なりの理論を確立することができるようにも取り組んでいます。
到達目標	この科目を受講する学生は、プロダクトデザイン理論の基礎を理解し、今後の仕事の現場で役立つ知識と考え方を身につけることを目的としています。本科目では、商品開発に関連する知識を体系的に学び、デザイン思考を活用することで、くらしと仕事のあらゆる場面で必要なデザインの知識を自発的に学び、考えることができるようになることを目指します。
授業方法	この授業では、教科書の内容に沿って講師からの解説を受けながら、リモートワークや参考資料を採り入れ、学生の「プロダクトデザインの知識」を育成していきます。目的は、学生が自分の適性や興味・関心と結びつけてプロダクトを理解し、社会で活動するために必要な知識力と理解力を具体的に修得し、自分自身の言葉で「プロダクトデザイン」を語り、思考できるようになることです。
成績評価方法	レポート・課題 70% レポート・課題を総合的に評価する ワーク・少課題 20% 授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価 平常点 10% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する
履修上の注意	この授業では、初心者の学生に理論の観点からプロダクトデザインに触れてもらいます。授業中に私語や受講態度などには厳しく対応し、理由のない遅刻や欠席は認めません。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求めます（詳しくは最初の授業で説明します）。社会の動きや情報を収集し、業界の今後の推移について考えることが重要です。授業時間の3/4以上を欠席した場合、レポートの評価を受けることができなくなります。
教科書・教材	プロダクトデザインの基礎、各回に資料配布
授業計画	
第1回	1年次の内容のまとめとおさらい、2年次学習内容のイントロダクション
第2回	デザイン評価と科学研究、デザイン評価と科学研究について理解する1
第3回	デザイン評価と科学研究、デザイン評価と科学研究について理解する2
第4回	デザイン評価と科学研究、デザイン評価と科学研究について理解する3
第5回	マーケティングとデザイン、マーケティングとデザインについて理解する1
第6回	マーケティングとデザイン、マーケティングとデザインについて理解する2

第7回	マーケティングとデザイン、マーケティングとデザインについて理解する3
第8回	マーケティングとデザイン、マーケティングとデザインについて理解する4
第9回	マーケティングとデザイン、マーケティングとデザインについて理解する5
第10回	技術とデザイン、技術とデザインについて理解する1
第11回	技術とデザイン、技術とデザインについて理解する2
第12回	技術とデザイン、技術とデザインについて理解する3
第13回	技術とデザイン、技術とデザインについて理解する4
第14回	デザインノート作成プロダクトデザインの基礎で必要とされる知識をまとめる
第15回	デザインノート提出、全体のまとめ